

板橋区立エコポリスセンター

板橋区立エコポリスセンター 副館長 たなか だいすけ 田中 大介

緑のカーテン設置中の全館画像

■ 設立経緯

板橋区立エコポリスセンターは、人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」の実現を目指して、区が1995年4月に設立しました。

当初の設立目的は環境保護と省資源・省エネルギー型社会を目指して、環境学習と環境情報の受・発信を推進するための施設として開設しました。

人と環境が共生する都市「エコポリス板橋」を目指して豊かな自然、澄んだ空気、静かでやすらぎのある暮らしは、私たちすべての住民の願いです。板橋区には、みどりや水の豊かな自然やいきいきとした街並みなど、誇れる環境が残されています。

しかし、近年の盛んな都市活動はかつての良好な環境を徐々に失わせ、さらに地球環境をも悪化させています。

エコポリスセンターでは、持続可能な社会を実現するために、人間と環境との関わりについての正しい認識に立ち、自らの責任ある行動をもって、持続可能な社会づくりに参画できる区民の育成、各主体（区民、区民団体、事業者、学校等、区）の連携サポートに取り組んでいきます。

2012年から指定管理団体「環境立区いたばし」応援プロジェクトが管理運営を

しています。「環境立区いたばし」応援プロジェクトとは、(株)学研教育出版（企画運営担当）と(株)東急コミュニティ（施設管理担当）が共同運営する団体です。教育に特化した図鑑や辞典・科学教材・環境教材などを制作し学ぶ楽しさを追求してきた(株)学研教育出版と、長年にわたってビルや公共施設などの管理をしてきた(株)東急コミュニティが、それぞれの会社の得意分野を活かして、区民の皆様楽しく快適に利用いただけるエコポリスセンター運営をしています。

学習の場の提供

エコロジーをテーマに、区民が自由にコミュニティ活動を行う場を提供します。また、環境にやさしい生活活動等を実践するきっかけを作るため、参加体験型の講座・教室やさまざまな啓発活動を行っています（写真1）。



写真1 夏休みに実施しているエコ工作教室、学生ボランティアの講師

※「エコポリス」は生態系を意味するエコロジーの「エコ」と都市を意味するギリシャ語の「ポリス」を組み合わせた言葉です。

環境情報の受・発信

環境、リサイクルに関する情報を収集し提供します。インターネットを利用した地球環境情報の収集や発信、環境教育ネットワークもこの一環です。

新技術の体験と普及

新技術を普及・促進して地球への負荷を少なくする社会システムを目指しています。

- 太陽電池、(最大10 kW)
年間発電量 7,122 kWh (2011年) (全電気使用量の約2.1%)
- 雨水利用 (貯留槽 100 m³)
年間貯水量 196 ton (2011年) (全水使用量の約4.5%)
- 二重壁：建物の温度変化を抑え、冷・暖房等の省エネに配慮

■ 基本的な活動理念

エコポリスセンターは、環境問題について理解を深め、地域に優しい環境に配慮した生活様式をともに考えていきます。

「知る」まずエコポリスセンターに来ていただくこと、そして、企画展、イベント、講座に参加していただきます。

「考える」かんきょう観察、環境講座、エコチェックシートなどから身近な環境について考えていただきます。

「行動する」エコチェックシート*など、身近なできることから始めます。環境について取り組みをはじめます。

■ 2015年4月に設立20周年を迎えた

1995年に設立された当館もおかげさまで今年20周年を迎えるに至りました(写真2)。自然学習や資源循環に関する学

*エコチェックシートとはエコポリスセンターが作成した14個の環境にやさしい活動の取り組みチェックです。毎年多くの区民の方々に参加していただいています

習施設はそれ以前からありましたが、総合的な「環境学習施設」という名称では当時全国に先駆けた施設だったと思われます。当館は20年という月日、良い意味でも悪い意味でも課題を抱え続けています。日本全国でごみ問題やエネルギー問題、環境問題を啓発する施設が、今後どのようなスタンスで市民と取り組んでいくかが注目されています。幸いにも板橋区は環境に対する意識が高く、20周年を記念して展示什器をリニューアルしました。

リニューアルにあたっては、「見える・交流できる」「遊び・新しい発見」「自然・緑・癒し」の3つのテーマで整備が行われました。

新たな展示は、1階に環境情報交流コーナーとして、ウェルカムウォールやエコ「ライブ」ラリーを設置し、地下1階には、環境活動情報コーナーとして、ココロエコボール、エコポリクイズ、映像装置を設置し遊びを通して環境を学ぶことができます。また、エコポリスガーデンを広く活用できるように、スペースをフレキシブルに活用できるし交流の場としても工夫されています。

今回はそれらのハードを使ってソフト(環境に関わる人材や団体)がいかに関展できるようになるかが注目されています。



写真2 4/2の20周年式典に参加してくれた板橋グローバルクラブの小学生とスタッフ